

Vol.87

Vol.87 (2021年夏号)

# PMI 日本支部 ニュースレター

Best Practice and Competence / PM事例・知識 …	3
Stakeholders / 法人スポンサー紹介 ……………	11
Activities / 支部活動 ……………	13
PM Calendar / PMカレンダー ……………	19
Fact Database / データベース ……………	20
Editor's Note / 編集後記 ……………	24



# Best Practice and Competence/ PM 事例・知識

## PMI日本フォーラム2021のご案内

### ■ デジタル革命に挑む! ～進化するプロジェクトマネジメント～ Move Forward with Digital Innovation - Evolving Project Management 2021年7月10日(土)～31日(土)

今年もPMI日本支部最大のイベント「PMI日本フォーラム2021」を全面リモートで開催します。

今年の日本フォーラムのテーマは「デジタル革命に挑む! ～進化するプロジェクトマネジメント～」。

さまざまな変革を実現して皆さまが潮流の先頭を走れるよう、その手法やノウハウを提供する使命をPMI日本支部が負っていると考えて選定したものです。

今年もこのテーマの下、数々の有益な示唆をいただける12名の方を基調・招待講演に招請しました。このほか、研究報告講演45編(部会、法人スポンサーSG、フォーラム・スポンサー企業)、アカデミック講演8編など計65の講演が展開されます。

日ごろPMI日本支部の活動にご賛同いただいております皆さまのご理解と支援に感謝しつつ、「PMI日本フォーラム2021」が実りあるものとなることを祈念しています。



## Best Practice and Competence / PM事例・知識

## ■PMI日本フォーラム2021のご案内



## PMI 日本フォーラム 2021

## デジタル革命に挑む！ ～進化するプロジェクトマネジメント～

■開催日程 2021年7月10日(土)～31日(土)

■開催形態 オンライン配信 (リアルタイム、オンデマンド)

■講演種類と規模

		リアルタイム配信	オンデマンド配信
基調・招待講演	12講演	7月10日(土)、11日(日)	7月10日(土) ～ 31日(土)
研究報告講演	45講演	—	
アカデミック講演	8講演	7月11日(日)	



■参加費 (税込)

参加費 (税込み)				受講証明書	
一般	法人メンバー企業社員	日本支部会員	部会アクティブメンバー	PDU	ITC実践力ポイント
30,000円	26,000円	22,000円	15,000円	最大12PDU	最大12時間分

■詳細、お申込み

<https://pmi-japan.eventos.tokyo/web/portal/426/event/2542>


お申込みは7月30日まで受け付けています!

■リアルタイム配信

区分	日時	講演時刻	番号	講演タイトル	講演者	所属組織
基調 招待	7月10日	9:50～10:00		開催挨拶	片江 有利	PMI日本支部 会長
		10:00～11:00	M-1	Powering the Future of Work through Projects	Matt Tomlinson	Board Director at the Project Management Institute
		11:15～12:15	M-2	技術革新と人財で支えるNTTデータのESG経営	藤原遠	(株)NTTデータ 代表取締役副社長 執行役員
		13:15～14:15	M-3	デジタルエンタープライズによる製造業革新とそのロードマップ	貴島雅史	シーメンス(株) シーメンスDIソフトウェア オートモーティブ&インダストリー 営業本部 本部長
		14:30～15:30	M-4	Diversity/Minority が拓く未来	永合由美子	東京大学国際オープンイノベーション機構 プロジェクトマネージャー
		15:45～16:45	M-5	新規事業参入におけるPMO主導型の新製品開発プロジェクトマネジメント	森田哲也	(株)リコ 執行役員、IP事業本部 事業本部長
	7月11日	17:00～18:00	M-6	「戦略的結婚相談所」デジタル活用による成功までの道のり	吉野麻衣子	SMART BRIDAL President & CEO
		10:00～11:00	M-7	IT技術者の資格の認証とオープンバッジを用いたその証明	深澤良彰	早稲田大学 理工学術院 教授
		11:15～12:15	M-8	ESG投資の動向～リスクとビジネス機会	吉高まり	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 経営企画部 副部長
		13:15～14:15	M-9	プロジェクトチームとしてのBNFの活用・事例紹介	湯原宏行	(株)メイテック 高崎エンジニアリングセンター マネージャー
		14:30～15:30	M-10	DX時代のセカンドキャリア ～人生後半戦のBig Projectに挑戦!～	西村美奈子	(株) Next Story 代表取締役
		15:45～16:45	M-11	The Human Side of The Project Economy™	Thomas Walenta	Global Project Economy Expert
アカデミック	7月11日	17:00～18:00	M-12	デジタル庁への期待と未来	牧島かれん	衆議院議員 自民党青年局長
		10:00～11:00	A-1	コンピテンシーの謎 ～必要なことは判る、しかしどうすれば獲得できるのか?～	神庭 弘年	神庭PM研究所 所長
		11:15～12:15	A-2	ITプラットフォームの構築プロジェクトAMATERAS	内海 康雄 多々見 良三 鈴木直康	舞鶴工業高等専門学校 校長 舞鶴市 市長 NPO 日本Androidの会 OSA WGリーダー
		13:15～14:15	A-3	オンライン授業のこれまでと今後の展望 - コロナ禍での大学教育の変革 -	井上 雅裕 飯尾 淳	慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特任教授 中央大学 国際情報学部 教授
		14:30～15:30	A-4 (連続)	パネルディスカッション : Now and future of online classes	除村 健俊 井上 雅裕 小林 真也	芝浦工業大学 システム理工学部 客員教授 非常勤講師 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任教授 愛媛大学大学院理工学研究科 教授
	7月11日	15:45～16:45	A-5	PMIが提唱する次世代向けプロジェクトマネジメント教育	飯尾 淳 当麻 哲哉 水井 悦子	中央大学 国際情報学部 教授 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授 エンパワー・コンサルティング(株) 代表取締役

## Best Practice and Competence / PM 事例・知識

## ■ PMI 日本フォーラム 2021 のご案内



## PMI 日本フォーラム 2021

## ■ オンデマンド配信 (その1)

区分	番号	PMI日本支部での所属部会	講演タイトル	講演者	所属組織
研究報告 部会	G-1	IRC	How to overcome cultural differences	永谷 裕子	(株)アスカプランニング
				千葉 千尋	ポッシュ株式会社
				谷口 篤	フリーランス
				寺田 誠二	ITER 機構
	G-2	IPPM (研)	PMI新標準「The Standard for Earned Value Management」の概要紹介と解説	泉澤 聖一	グローバル・テクノロジーズ
	G-3	アジャイル (研)	2021年 アジャイル プロジェクト マネジメント意識調査	大内 孝明	日本電気(株)
				成田 和弘	三菱UFJトラストシステム(株)
	G-4	アジャイル (研)	アジャイル開発における課題の共通性と関連性の考察	榎井 映里	キヤノンITソリューションズ(株)
				和良品 文之丞	(特非) ITプロ技術者機構
				磯野 聖	キヤノンITソリューションズ(株)
	G-5	アジャイル (研)	共創を加速するアーキテクチャー2021	井芹 薫	ポッシュ(株)
				中村 正伸	香川大学
				齋藤 毅	中京大学経営学部
				佐藤 祐也	イノベーションマネジメント(株)
	G-6	AI@Work Study Group	AIを身に着ける最初の入り口 ～AI-Readyになるためのファーストステップ～、そしてAIをPMに活用へ	佐藤 美一	SBI FinTech Solutions(株)
				林 克郎	日本アイ・ビー・エム(株)
	G-7	AI@Work Study Group	AI導入プロジェクトを成功させるためにプロジェクトマネージャーが押さえるべきポイント	和田 安有夢	(株)ベikalent・コンサルティング
				岡元 大輔	富士通(株)
				西山 淳	伊藤忠テクノソリューションズ(株)
	G-8	AI@Work Study Group	AI×PM: Japan & Global Trends ～ここまでわかった、DS&AIプロジェクトの進め方	武上 弥尋	日本アイ・ビー・エム(株)
渡邊 恒文					
G-9	SDGs スタートアップ研究分科会プロジェクト	SDGs実現のための『SDGsスタートアップ方法論』の提案	稲葉 涼太	(株)Flexas Z	
G-10	関西ランチ PM実践 (研)	オンライン版ショートケース・ワークショップのデザインと実践報告	橋本 欽司	日本カノマックス(株)	
G-11	関西ランチ PM実践 (研)	63歳の私は、初心者による人生初のフルマラソン42.195Kmで、初完走をめざす難関プロジェクトに挑戦しました!!! — その成否の鍵は、“自己変革のすずめ”を加速する タレント・トライアングルの実践だった! ? —	勝連 城二	PMイノベーションオフィス51	
G-12	関西ランチ 医療PM (研)	創業における研究・開発マネジメントモデルへのPPPM適用の試み ～モタリティ多様化時代の創業の研究・開発マネジメントに向けて～	山口 雅和	日々創発	
			岡橋 正明	(株)インテリム	
G-13	関西ランチ IT上流工程 (研)	ビジネス価値実現に貢献するPM人材に求められる実践的ビジネスリレーションシップ・マネジメント・プロセスモデルの構築	塩田 宏治	(株)クリエイション	
			山口 雅和	日々創発	
G-14	関西ランチ 定量的PM事例 (研)	コロナ禍におけるチームビルディングのありかたについて ～1on1による心理的安全性の確保と組織生産性について～	杉原 秀保	ニッセイ情報テクノロジー(株)	
G-15	関西ランチ PM創生 (研)	正解のない時代に適応することを目的とした「Empathy型部会」への変革	伊達 渡	オムロン ヘルスケア(株)	
G-16	ステークホルダー (研)	テレワークで再認識したステークホルダー・エンゲージメントの重要性	鈴木 道代	(株)プロジェクトマネジメントオフィス	
G-17	セミナー・プログラム	リモートワーク時代のステークホルダーマネジメント (セミナーイベント編)	森本 信一	メディデータ・ソリューションズ(株)	
			鬼東 孝則	Ridgelinez (株)	
G-18	ソーシャルPM (研)	ソーシャル課題への取組み ①総集編 ソーシャル・プロジェクトマネジメント: 10年間の研究開発	高橋 正憲	P Mプロ有限公司	
			藤井 新吾	一般社団法人情報支援レスキュー隊	
G-19	ソーシャルPM (研)	ソーシャル課題への取組み ②企業編 企業における学生向け教育事例	野尻 一紀	日本アイ・ビー・エムデジタルサービス(株)	
			河合 慎一郎	KDDI(株)	
G-20	ソーシャルPM (研)	ソーシャル課題への取組み ③公共団体/教育機関編 パブリックセクターにおけるSDGs活動事例	渡辺 恵士朗	札幌のITコンサルティング会社	
			大久保 剛	(株)野村総合研究所	

## Best Practice and Competence / PM 事例・知識

## ■ PMI 日本フォーラム 2021 のご案内



## PMI 日本フォーラム 2021

## ■ オンデマンド配信 (その2)

区分	番号	PMI日本支部での所属部会	講演タイトル	講演者	所属組織		
研究報告	G-21	組織的プロジェクトマネジメント (研)	日本の組織に活をいれるには (PMの国際標準ISO21500とイノベーション・マネジメントの国際標準ISO56002を横目に)	田島 彰二	戦略PMオフィス		
	G-22	組織的プロジェクトマネジメント (研)	組織のアジリティと変革を実現する組織文化	河々谷 健一	ベライゾンジャパン合同会社		
	G-23	中国コミュニティ@広島 (地域サービス委員会)	コロナ禍におけるフルリモートでの地域コミュニティ立上げ事例	茨木 浩司 山崎 仁	マツダ(株) マツダ(株)		
	G-24	地域サービス委員会	デジタル化が加速する世界でプロジェクト・マネジャーのキャリアを考える ～必要とされるスキルをレベルアップし続ける～	浦田 有佳里	TIS(株)		
	G-25	中部ブランチ 地域ソーシャルマネジメント (研)	中部ブランチのSDGs推進 x カードゲーム	國枝 善信 佐藤 美穂	SCSK(株) (株)マネジメントソリューションズ		
	G-26	PMO (研)	プロジェクトマネジメント育成およびPMOの役割	阿部 笑子 山内美佐子			
	G-27	PMO (研)	海外動向に見る未来のPMOが目指すべき方向	西原 真仁	(株)JSOL		
	G-28	PMO (研)	企業の競争優位性を生み出すアジャイルなPMO	遠藤 猛 富田 寛	パナソニック システムソリューションズ ジャパン(株) (株)リコー		
	G-29	PMタレントコンピテンシー (研)	DX時代に求められるPM像とは ～PMコンピテンシー活用とその実例～	神庭 弘年 金子 啓一郎	神庭PM研究所 三菱電機(株)		
	G-30	PMタレントコンピテンシー (研)	PM育成フレームワークを活用してプロジェクトマネジメントスキルを向上させる	島谷 健也	(株)リクルート		
	G-31	ビジネスアナリシス (研)	アジャイル開発におけるPO視点でのビジネスアナリシス解説	川野 琢也	(株)モンスター・ラボ		
	G-32	ビジネスアナリシス (研)	[講演中止]	-	-		
	G-33	ポートフォリオ/プログラム (研)	デジタルトランスフォーメーションを適切に推進できる組織とは?	河村 智行	(株)電通国際情報サービス		
	G-34	ポートフォリオ/プログラム (研)	ポートフォリオマネジメント標準を適用した企業変革実践の成功・失敗要因の検証	河邊 耕二	三井海洋開発(株)		
	G-35	ポートフォリオ/プログラム (研)	自然災害による被害最小化に向けた最適なマネジメント手法を探る ～それは、プロジェクト/プログラム/ポートフォリオ三位一体マネジメントである！ ～	下池 季樹	(株)アジア共同設計コンサルタント		
	G-36	ポートフォリオ/プログラム (研)	ソーシャルビジネスへのポートフォリオマネジメントの適用	保科 誠治	(株)マルブ		
	法人ス ポンサー SG	G-37	ケースメソッドSG	リスクを軸としたケースメソッドの作成方法	重見 憲一	N E Cソリューションイノベータ(株)	
		G-38	人材育成SG	プロジェクト・マネジャーの人間力を発揮する方法 ～「べし/べからず」から学ぶ困ったときの解決ガイド～	小山 透	ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)	
	協賛ス ポンサー	S-1		継続的改善を実現するチーム	梅澤 健太	(株)エル・ティ・エス	
		S-2		プロジェクトのフローを加速せよ ～TOC流の課題発見と対応のコツ	小路 慎浩	(株)アジャイルウェア	
		S-3		働き方改革でのITツールの活用を考える	松葉 知則	W r i k e J a p a n(株)	
		S-4		オンライン下での新しいコミュニケーションスタイル	中村 静香	テルモ(株)	
		S-5		両利きなPMOになれ！ ～大手SIerのPMOのアジャイル・トランスフォーメーション・ジャーニー～	張 嵐	TIS(株)	
		S-6		プロジェクトマネージャーのためのビジネスアナリシス入門	色野 一人	(株)トレードクリエイト	
		S-7		DXに対応したITIL4の全貌のご紹介 ～アジャイルやDevOpsも包含～	最上 千佳子	日本クイント(株)	
	アカデミッ ック	A-6		「IT経営を推進するための授業プロジェクト」の企画と実践および評価	山戸 昭三	法政大学経営大学院	
		A-7		価値創造のためのPBL授業マネジメント	森本 千佳子	東京工科大学 コンピュータサイエンス 学部	
		A-8		パネルディスカッション： 学生向け研修の事例紹介と今後の展開		奥田 智洋	(株)アイ・ティ・イノベーション コンサルティ ング
						除村 健俊	芝浦工業大学 システム理工学部
						大小田 恵子	TIS(株) プロジェクトマネジメント部
				藤井 新吾	モバイルコンピューティング推進コンソー シアム		

## 委員会・部会活動内容紹介

### 1. PMコミュニティ活性化委員会

PMコミュニティ活性化委員会 委員長 森田公至

PMコミュニティ活性化委員会は日本支部の戦略委員会の一つで、各部会が連携を図って活動するための支援機能を担っています。ミッションは、日本支部会員をターゲットとし、研究会等の部会コミュニティがより一層活性化するよう交流の場や適切な情報を提供し、アクティブメンバーの増強と日本支部の価値向上に貢献することです。

今年度の目標は、ワーキンググループ（WG）ごとに以下の4点です。

- 1) 部会リーダーのリーダーシップ育成（リーダーシップ推進WG）
- 2) 部会リーダー間のコミュニティ活性化支援（部会連携WG）
- 3) 会員向け情報配信の効率化、確立、コミュニケーション

ン運営支援（情報発信WG）

- 4) 会員の部会活動活性化に向けた支援（ボランティア活動支援WG）

各WGについて簡単にご紹介します。

#### (1) リーダーシップ推進WG

部会リーダーのリーダーシップ育成を図るためにPMIのLIM (Leadership Institute Meeting) を参考に、今後のPMIや支部の方向性を部会リーダーと共有して議論するとともに、参加者のリーダーシップを育成する場を提供しています。具体的には、各部会リーダーを対象に、毎年80名前後を集めてワークショップを9月に開催しています。昨年、今



LM2020の様子

## Best Practice and Competence/PM事例・知識

### ■委員会・部会活動内容紹介

年は新型コロナの影響に鑑み、リモートによる1日開催ですが、一昨年までは一泊二日の合宿形式でネットワーキングができる環境で実施していました。

#### (2) 部会連携WG

部会リーダー間のコミュニティ活性化を支援するために、4回/年部会リーダー交流会を主催しています。各部会間の情報交換を活発にし、連携を深めるための方法を検討する本交流会は、研究会、各ブランチおよび委員会、プログラム間の情報連携、並びに、プロジェクトおよび事務局からの情報共有を通して部会活動の連携、活性化を図ることを目的として活動しています。

#### (3) 情報配信WG

部会活動を行うことのメリットを広く情報発信し、入部促進メールマガジンなどのPush型配信、日本支部会員向けコミュニティ・チャンネルでのPR、研究会の活動ログの自動取得とビックデータ解析などを検討しています。

#### (4) ボランティア活動支援WG

部会活動活性化を支援するための施策を検討し、実施しています。今年度は「部会紹介セミナー」と「コンシェルジュサービス」を展開していきます。また業種別プロジェクトのコミュニティの形成促進などができるよう新しい枠組みを検討しています。

PMI本部や日本支部、部会の活動概要を紹介し、楽しく有意義な活動をしていただけるよう、新しく日本支部会員になられた方々を対象にした「新入会オリエンテーション」も4回/年開催しています。

私どもは毎月第一火曜日 19:00～21:00に定例会を開催しています。ご興味のある方は是非、見学いただければ幸いです。

## ■ 2. 関西ブランチ 定量的プロジェクトマネジメント事例研究会

代表 杉原 秀保

### ■ はじめに

定量的PM事例研究会は、関西ブランチ内の研究会として2009年1月に発足し、今年で13年目になります。発足当初は、定量的な情報に基づくプロジェクトマネジメント事例を互いに発表し、研究を重ねた後に「事例から学ぶ品質予測の実践ガイド」(特許取得済み)の公開や、より短期間でプロジェクトをやり遂げるためのクリティカル・チェーン・マネジメント (CCPM) に関する研究も行ってきました。

近年では定量的マネジメントのテーマだけに留まらず、ヒトに関するテーマや製薬業界の治験プロジェクト等様々なテーマや業種におけるプロジェクトマネジメント事例等の知見を毎月共有しながら、対話を通じた学びの場を提供しています。

### ■ 活動内容

月例会と年2回の研究発表 (PMI日本フォーラム、関西ブランチ成果発表会) が主な活動です。

#### 1) 合同事例発表会 (月例会) について

月例会では、毎月発表担当を決めて、持ち回りで担当プロジェクト等の事例を持ち寄り、参加者同士の意見交換を通じて、新たな気付きを得たり、学びを深めたりしています。また、参加者は、通常研究会メンバーだけに閉じている研究会が殆どだと思いますが、より多様な価値観・業種のメンバーで集い、議論した方が視点も広がるという考えのもと、定量的PM事例研究会のメンバーでなくても関西ブランチメンバーであれば自由に参加できる運営にしており、毎回深みのある議論がなされています。

だれでも参加しやすいよう敷居を低くしたいという意図もあり月例会の名称は「合同事例発表会」として運営しています。合同事例発表会の開催は、実践知を学びたいメンバーのニーズを満たすと共に、関西ブランチ内におけるコミュニケーション機会の創出にも一定貢献しているものと感じています。(図3: 合同定例会の様子参照)

#### 2) 近況報告について

毎月の定例会の最後に参加者全員から近況報告 (嬉しかったできごとやトピックス等) を一人2~3分で話していただいています。コロナ禍で、人と人との関りが薄くなっている社会的背景がありますが、そうした状況だからこそ自己肯定感や承認欲求を満たせる工夫が大切だと感じています。時間にしてほんの数分のことですが、定例会に参加しているメンバーの話に全力で耳を傾け、興味・関心を示しながら相手の立場に寄り添えるスキルが、プロジェクトに従事する者に求められる行動特性だと感じています。

毎月の発表テーマは以下の図1をご覧ください。

#### 3) 外部への情報発信 (研究成果発表)

研究会内で発表・議論したテーマの中から講演テーマを選出し、年2回 (PMI日本フォーラム、関西ブランチ成果発表会) 外部発信向けの講演を行っています。

PMI日本フォーラム対象講演は、研究会内の事前レビューや関西ブランチ内のリハーサル (振り返り) を行うことで、発表内容の更なるブラッシュアップを図っています。

また、毎年12月に開催している関西ブランチの成果発表会では、各研究会の1年間の研究成果を披露しあい他の研究会の活動内容にも触れることができる貴重な機会になっています。

近年実施した外部向け講演テーマは、以下の図2を参照下さい。

### ■ 活動の趣旨

プロジェクトの現状を正確に把握するため様々な定量的データを計測し、今後の見通し (予測) を立てて制御するために定量的プロジェクトマネジメントが必要になります。データ計測の具体的な実施方法やその手順、マネジメントする上での問題点を明らかにし、研究会メンバーの実務経験をもとにより良い計測方法、統計処理や見える化の手法、予測と制御の手法等プロジェクトマネジメントへの具体的な活用方法をノウハウとしてまとめ公開 (例 EVMの実践ガイド、品

Best Practice and Competence / PM事例・知識

■委員会・部会活動内容紹介

質予測の実践ガイド等) しており、2018年に発足した統合プロジェクトパフォーマンス研究会 (IPPM研究会) とも一部連携しながら活動しています。

一方で、本研究会では、定量的なプロジェクト事例だけにとどまらず、コロナ禍におけるチームビルディングや関係構築方法など人的資源や戦略・リーダーシップといったタレントトライアングルに関するテーマも扱っています。変化の激しいプロジェクト現場で求められる知見の獲得を目指して、研究テーマの幅を広げています。

図1 合同事例研究会の発表テーマ

開催日	発表者	発表テーマ	開催日	発表者	発表テーマ
1月29日	石川	「安全や安心してもらえるコミュニケーションの一事例」(NLP)	7月30日		
2月26日	橋野	「EngにおけるProgress Calculation事例の紹介」	8月20日		
3月26日	川合	「ソーシャルプロジェクトガイドラインの紹介」	9月24日 20:00	前田	
4月30日	山田	「ソフトウェア開発プロジェクトの品質予測」～機械学習による欠陥予測手法の事例紹介その2～	10月29日	池内	
5月21日	杉原	コロナ禍におけるチームビルディングのありかたについて	11月19日		
6月18日	神野	「AIに関わる知見獲得のための取り組みについて」	12月24日 20:00		

図2 外部向け講演テーマ

開催年	担当	PMI日本フォーラム発表テーマ	担当	関西ブランチ成果発表会
2021	杉原	コロナ禍におけるチームビルディングのありかたについて～lon1による心理的安全性の確保と組織生産性について～	未定	未定
2020	工藤	「設備保全活動におけるDX対応と定量的データ」	伊藤充	「グローバル臨床試験におけるプロジェクトマネジメント：ひとシステム」
2019	浦中	「テクニカルコンサルタントの活用とプロジェクトの傾向」	工藤	ユニバーサルスタジオジャパンに必要な定量的プロジェクト管理について
2018	神野	「気付きと刺激を与えるEVMの新しい活用提案」	小暮	「CCPMのソフト開発以外への活用事例調査」
2017	なし		山田 神野	「アード・バリュー・マネジメントの基本と実践事例のご紹介」

図3 合同定例会の様子



■最後に

定量的PM事例研究会では、『真の学びは対話を通じた相互理解や気付きにある』をコンセプトに、他の研究会メンバーの参加も得ながら多様な意見やディスカッションを通じて新たな価値観や気付きを得る場として、認知されています。

更に、メンバーの人となりを理解し合うという面でも、お互いに趣味の活動を紹介し合うこともしています。(図5：趣味の活動紹介参照)

これらの様々な取り組みが近年多くの方から支持を得て、研究会の会員数も増加傾向にありますので、ご興味のある方は見学だけでも大歓迎ですので、事務局までご連絡をお待ちしています。

図4 月例会の集合写真

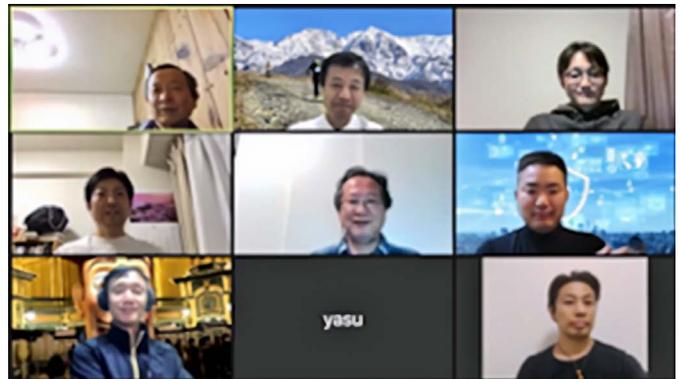


図5 趣味の活動紹介

**おまけ 趣味の定量的活動 (NPOディスカバー・リアス)**

「ステージレース三陸311」  
2011.3.11東日本大震災から10年目に東北で開催される311kmステージレース。

昨年の秋試走会へ参加し、震災後初めて訪れる三陸沿岸部の豊かな自然や地元の方の復興への思いに触れることができました。

2020/10/31(土)スタート直後の浄土ヶ浜

資金・運営面や自治体の理解など課題はありますが、私に応援していきたいと思っております。

# Stakeholders / 法人スポンサー紹介

## NECソリューションイノベータ

現在、私たちを取り巻く環境は、地球規模で発生している自然災害やパンデミック、少子高齢化、エネルギーや食糧・水などの資源問題、急加速するデジタル化やサイバー犯罪の増加など、大きな社会課題に直面しています。

NECグループの社会価値創造をICTで担うNECソリューションイノベータは、これらの社会課題を解決し、NECグループのPurpose（存在意義）で掲げたように、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。

1975年の設立以来、当社はNECグループのソフトウェア開発を担う会社として、時代をリードする先進技術、幅広い業種のお客様や地域と向き合い培ってきた知見を活用して、社会や企業を支えるシステムやソフトウェアを提供し続けてきました。そして2014年、NECグループの国内ソフトウェア開発機能を集結し、「革新的なソリューションを創造し、イノベーションを提供する」会社として、新たなスタートを切りました。

私たちNECソリューションイノベータは、システムインテグレータとして、技術力・開発力やお客様の業種・業務知識などの幅広い知見をたゆまず進化させ、お客様の戦略パートナーとなりお客様価値の最大化を実現するとともに、バリュー・プロバイダとして、さまざまなステークホルダーとの共創などを通じて、人や社会の未来を描き、まだ見ぬサービスや新たな価値の創造に挑戦していきます。

### 1. NECソリューションイノベータ 2030ビジョン

NECグループのPurpose（存在意義）

Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。

高い技術力とイノベータの目線で  
社会価値を創造するソフトウェア&サービス・カンパニー

システムインテグレータとして

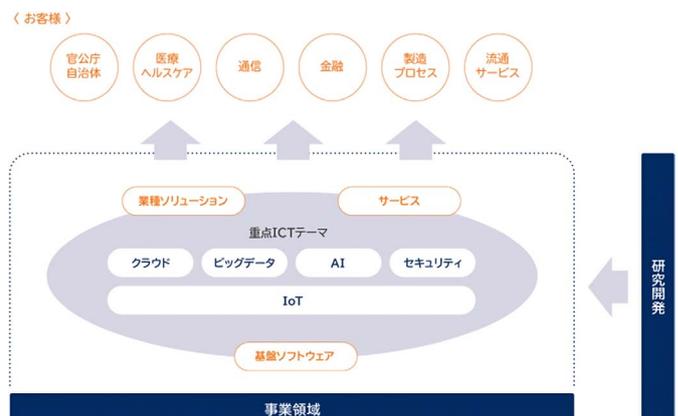
バリュー・プロバイダとして

先進ICTと豊富な知見により  
お客様価値を最大化

人や社会の未来を描き、  
まだ見ぬサービスや  
新たな価値を創造

### 2. 事業領域

クラウド、AI、セキュリティなど、デジタル技術を活用し、ビジネスや生活の質を高めるデジタルトランスフォーメーションの実現に貢献する製品・ソリューションやサービスを提供していきます。また、先進技術の活用領域拡大、次世代技術の開発などの研究開発に取り組み、それらの成果を当社のさまざまな事業で活用しています。



#### ● バブリック

高度なソリューションで、社会課題解決に挑む

高い専門性を持つ人材と先進ICTによって、社会の課題を解決し、安全で安心な生活の基盤を支える高度なソリューションを、日本全国およびグローバルに提供します。

## Stakeholders / 法人スポンサー紹介

### ■ NECソリューションイノベータ

主な業種・領域：官公庁、自治体、文教、金融、医療、消防・防災、都市インフラ、航空、メディア、宇宙など

#### ● エンタープライズ

##### ビジネスを加速させ新たなステージへ

産業の幅広い分野で培った技術力や組織力、NECグループ向けのシステム開発で培ったシステム構築力などのノウハウを発揮し、企業のお客様を中心に、各種業務システムや経営戦略をサポートするソリューションを提供します。また、お客様との共創による新たなビジネスモデルの創造にも取り組みます。

主な業種・領域：製造業、建設業、住宅業、プロセス業、小売業、卸売業、ホテル事業など

#### ● プラットフォーム

##### デジタルトランスフォーメーションを支える先進の技術力

時代をリードする先進技術の開発やシステムを支える基盤の構築など、高度な当社のプラットフォーム技術を再断言に活かし、より豊かで快適な社会環境の実現に貢献します。

主な業種・領域：テレコムキャリアソリューション、クラウドソリューション、モダナイゼーション、システム基盤ソリューション、基盤ソフトウェアなど

#### ● 地域

##### 共に歩むパートナーとして、地域に輝く未来を

地域に寄り添うパートナーとして、お客様の抱える課題の解決や新たな価値の創造に、最適なICTソリューションで応えます。さらに、地方創生や産官学連携によるさまざまなプロジェクトの推進を通し、スマートシティ・ソリューションの提供など、地域の発展、活性化に貢献していきます。

### 3. NECソリューションイノベータのマネジメントプロセス

当社は、2014年に各地区のソフトウェア会社7社が合併し、それまで各社で個別に運用されていたマネジメントプロセスを組織的プロジェクトマネジメントとして、全社で統一しました。

組織的プロジェクトマネジメントとは、プロジェクトリスクをプロジェクト任せ、現場任せにせず、会社組織の責任で解決・極小化するための仕組みであり、経営者、組織長、プロジェクト責任者、プロジェクトマネージャそれぞれが、その立場でプロジェクトに対して、その責任を果たすことを要としています。

また、プロジェクト情報の見える化として、全プロジェクトの情報（プロジェクト状況、品質、費用、進捗、リスク等）を登録するシステムを構築し、各現場でプロジェクト情報の登録を推進し、全社でプロジェクト情報を共有できるしくみを運用しています。

当社の競争力の源泉は人材であるとの考えのもと、当社が持続的に成長・発展していくためには、高度な専門性で事業を牽引・拡大する人材を、戦略的・継続的に輩出することが必要であるため、高度専門職制度を制定し、事業に対する貢献に見合った高度専門職の評価・処遇を設定し、より多くの高度専門職を輩出して、事業拡大を図っています。事業構造改革の実現に向けて、従来の組織長キャリアをメインとした職位体系について専門職キャリアをメインするように改め、組織長と同様に執行役員までのキャリアパスを整備しました。

また、人材育成を加速するため強化領域（コア人材）を定め、強化領域毎に育成カリキュラムを体系立てて作成・整備しなおし、事業動向に応じて育成目標人数を定めて人材育成を始めています。プロジェクトマネージャについても、昨年度より強化領域に加え、専門的な育成を開始しました。



### 4. PMI日本支部の法人スポンサーに加入して

当社は2020年4月よりPMI日本支部の法人スポンサーに加入させていただきました。セミナーやスタディグループへの参加等を通して、PMI日本支部の会員の皆様と情報共有や意見交換させていただき、幅広い知見や豊富な経験、先進的な取り組みについて共有させていただけますと幸いです。

# Activities / 支部活動

## PMI本部による 「Chapter Satisfaction Survey」の概要紹介

### ■全体背景

PMIは毎年全世界の支部に所属する会員（2021年1月末で約27万人）を対象に、満足度調査を実施しています。その結果は支部、リージョン毎に集計されて当該支部に通知されてきます。ただし、他支部の詳細は相互には分かりません。

お気づきでない方も多かったかと思いますが、昨年12月1日にPMIから調査協力を依頼する英語の電子メールがPMI日本支部会員向けにも発信されました。

今回は、PMI日本支部としても積極的に協力することにし、2020年11月30日のPMIJ通信で調査回答への協力依頼を行ったほか、12月12日開催の部会リーダー交流会など、11月から12月にかけてイベント開催の折に触れて調査への協力をお願いしました。

この結果、2020年度調査の回答数は1,291（2019年度は748）となり、支部会員数に対する回答率は、12%から18%に高まりました。

なお、リージョン9（北東アジア）の支部に所属するPMI会員の68%、リージョン9における回答者の78%を日本支部会員が占めています。

多くの皆様にご協力いただきまして、大変ありがとうございました。

### ■調査結果の概要

昨年より500人以上も多くの方からご回答いただき、会員全体の意向に迫るデータが得られたと受け止めています。その結果、全般的に満足度に関する数値が低下するという皮肉な結果になりました。

一方で支部会員継続の意向は顕著に高くなっており、PMI本部が用意した選択肢と日本人の感覚が乖離しているために解釈上の補正が必要になる面があるものの、従来よりも自然体のご回答が多数いただけたように思います。

「可もなく不可もなし」という評価が日本人的には特に問題がないという支持表明であり会員継続につながるのに対し、明らかな問題がなければVery Goodと答えるアメリカ式付度文化に日本人会員は染まっていないとの解釈も在り得ると考えます。

調査結果からは、「プロジェクトマネジメントを学びたい」、「PDUが欲しい」、「PMIが提供するメリットを享受したい」というPMI日本支部入会時の期待が明確に示されていました。

また、今後積極的にPMI日本支部の活動にご参加いただくためには、「より多くのイベントをより参加し易い日時に開催する」、「支部会員が参加できる活動に対する情報発信を強化する」、「ネットワーキングの機会を増大させる」ことなどがカギになると読み取れました。

### ■今後に向けて

細かな数値の変動に一喜一憂することなく、会員の皆さまの幅広い期待に十分応えるべくPMI日本支部の活動を充実させていきます。

オンラインのイベントや会合のノウハウが蓄積され、利用するインフラも整備してきましたので、今年はオンラインイベントを多数開催しています。ぜひお気軽にご参加ください。

今年末にも同様の満足度調査が行われる予定ですので、積極的にご協力いただき率直なご意見をお寄せいただければ幸いです。

## Activities / 支部活動

■ PMI本部による「Chapter Satisfaction Survey」の概要紹介

## ■ 支部満足度調査2020 (Chapter Satisfaction Survey 2020) 結果

## ■ 支部データ及び回答者のプロフィールのサマリー

	2018年	2019年	2020年
支部会員数(12月末)	4633	5078	4966
本調査の回答数	645	748	1291
本調査の回答率	14%	12%	18%
回答者の平均年齢	—	50.74	50.4
回答者の平均プロジェクトマネジメント経験年数	15	15.94	15.81

## ■ 支部会員のバックグラウンド

プロジェクトマネジメント経験年数	2018年	2019年	2020年
5年以下	11%	11%	10%
6～10年	29%	27%	28%
11～15年	21%	19%	19%
16～20年	22%	21%	22%
20年超	17%	22%	21%

年齢	2018年	2019年	2020年
24歳以下	—	0%	0%
25～35歳	—	4%	4%
36～45歳	—	26%	26%
46～55歳	—	39%	40%
56～64歳	—	26%	25%
64歳超	—	5%	5%

支部会員であることがどれだけ自分のキャリアに重要か	2018年	2019年	2020年
とても重要	16%	17%	10%
重要	33%	31%	23%
まあまあ重要	34%	33%	45%
ほとんど重要ではない	11%	15%	19%
全く重要ではない	5%	5%	3%

## Activities / 支部活動

## ■ PMI本部による「Chapter Satisfaction Survey」の概要紹介

PMI会員費の支払者は？	2018年	2019年	2020年
自分	77%	77%	77%
自分が一部、自分の会社が一部	3%	3%	2%
自分の会社	20%	21%	21%

支部会員費の支払者は	2018年	2019年	2020年
自分	78%	78%	79%
自分が一部、自分の会社が一部	3%	2%	2%
自分の会社	19%	20%	19%

## ■ 支部会員の満足度

全体的な支部会員満足度	2018年	2019年	2020年
とても満足	21%	19%	14%
どちらかといえば満足	46%	47%	38%
満足でも不満足でもない	24%	25%	39%
どちらかといえば不満足	7%	7%	7%
とても不満足	2%	1%	2%

支部のリーダーシップに対する満足度	2018年	2019年	2020年
とても満足	16%	15%	11%
どちらかといえば満足	40%	36%	25%
満足でも不満足でもない	36%	42%	58%
どちらかといえば不満足	7%	5%	3%
とても不満足	2%	2%	2%

支部会員を継続する可能性	2018年	2019年	2020年
非常に可能性が高い	20%	24%	31%
とても可能性が高い	38%	35%	47%
どちらかといえば可能性がある	35%	34%	15%
あまり可能性がない	5%	5%	5%
全く可能性がない	2%	2%	2%

全体的に見た支部会員としての価値	2018年	2019年	2020年
非常に高い	10%	8%	6%
とても良い	25%	25%	16%
良い	40%	38%	35%
まあまあ	19%	22%	35%
良くない	7%	7%	9%

## Activities / 支部活動

## ■ PMI本部による「Chapter Satisfaction Survey」の概要紹介

日本支部入会を勧める可能性	2018年	2019年	2020年
10	10%	11%	6%
9	5%	6%	4%
8	16%	22%	14%
7	22%	16%	17%
6	9%	11%	9%
5	20%	21%	30%
4	4%	3%	5%
3	6%	4%	5%
2	5%	4%	4%
1	1%	1%	2%
0	4%	1%	3%

これまで日本支部入会を勧めたことはありますか	2018年	2019年	2020年
いいえ	44%	48%	65%
はい	56%	52%	35%

## ■ 支部会員活動

これまで支部のリーダーとして活動したことがありますか	2018年	2019年	2020年
はい、現在リーダーとして活動中	10%	10%	6%
はい、過去にリーダーとして活動していました	8%	6%	5%
いいえ	81%	84%	88%

これまで支部のボランティアとして活動したことがありますか	2018年	2019年	2020年
いいえ	77%	75%	84%
はい	23%	25%	16%

ライブ・イベントに参加した回数	2018年	2019年	2020年
0	34%	37%	64%
1～3	40%	37%	30%
4～8	15%	15%	4%
8以上	11%	11%	1%

オンライン上のイベントに参加した回数	2018年	2019年	2020年
0	75%	74%	45%
1～3	17%	21%	39%
4～8	5%	4%	11%
8以上	3%	2%	5%

## Activities / 支部活動

## ■PMI本部による「Chapter Satisfaction Survey」の概要紹介

支部会員活動の活発度	2018年	2019年	2020年
自分が望むほど活動に従事していない	20%	27%	33%
自分が望むと同程度活動に従事している	49%	41%	46%
自分が望む以上に活動に従事している	17%	18%	5%
上記のどれにも当たらない	13%	8%	11%
そのほか	1%	7%	4%

支部会員としての活動をさらに活発に行うために何が必要か	2018年	2019年	2020年
ボランティア活動についての明確な詳細を提示	7%	6%	10%
自分にとって都合のいいタイミングでのイベント実施	28%	22%	24%
自分の業種に特化したイベント	17%	21%	14%
会員活動の機会についての支部からの情報提供	17%	21%	17%
全般的にもっと多くのイベント	11%	13%	18%
他参加者との交流機会（ネットワーキング）の提供	16%	11%	13%
上記に当てはまらない	4%	3%	1%
そのほか	0%	4%	0%
その他の回答あり	0%	0%	3%

支部に入会した当初の理由	2018年	2019年	2020年
その他の回答あり	—	—	2%
近隣で他のプロジェクト・マネジャーと交流するため	—	—	8%
自分の業界またはプロジェクトマネジメントに関してメンターを探すため	—	—	2%
自分の地域で仕事の機会を得るため	—	—	1%
PMIが提供するメリットを十分に享受するため	—	—	15%
さらにPDUを獲得するため	—	—	20%
プロジェクトマネジメントに関し経験を得るため	—	—	10%
リーダーシップのスキルを得て実践するため	—	—	8%
地元のプロジェクト・マネジャーからリソースやツールについて習うため	—	—	5%
プロジェクトマネジメント全般についてもっと学ぶため	—	—	28%
地域のコミュニティでボランティア活動に従事するため	—	—	2%

## PMIアジアパシフィックのご紹介

PMIアジアパシフィック 武田 泉

PMIアジアパシフィックは2014年にPMIのリージョナルオフィスとしてシンガポールに設立され、インドと中国を除くアジア圏、およびオーストラリア、ニュージーランドをカバーしています。現在10名程度の小規模な組織ですが、マーケティング、チャプター・マネジメント、ビジネス・デベロップメント等の機能を持っています。

なお、シンガポールと同じタイムゾーンのマレーシア（クアラ Lumpur）にPMIアジアパシフィックのカスタマーケアがあります。こちらはPMIがカスタマーケアおよびマーケティングキャンペーンの実施等を委託しているベンダー組織で、PMI会員や受講者の方々からのお問合せに対応しています。カスタマーケアベンダーの管理はPMIの米国本部が管轄していますが、必要に応じてPMIのリージョナルオフィスと連携しています。

日本においてプロジェクトマネジメントが拡大するに従い、日本のPMコミュニティのサポート強化を図るため、PMIもリソースを増強しています。その一環で日本人職員として私も加わりましたので、日本に関わるPMIアジアパシフィックのメンバーを紹介させていただきます。

### ◆職員の紹介

#### ベン ブリーン

アジアパシフィック マネジング・ダイレクター

地域のビジネス・デベロップメントとチャプターを統括すると共に、建設業界に特化したワーキンググループと資格の開発を牽引しています。



#### ソユン カン

アジアパシフィック エンゲージメント・リード、チャプター開発マネジャー

日本のステークホルダーとの関係構築およびニーズの把握に努めています。



PMI歴10年以上のベテランで、日本支部を担当している、シティー（チャプター・パートナー）、シンイン（チャプター・アドミニストレーター）、ATPコーディネーターの武田（筆者）、およびイベント・スペシャリストのチームメンバーを管理しています。

#### 武田 泉

ATPコーディネーター、日本マーケット・スペシャリスト

2020年度末にPMIに入社し、ATP企業様との日々のコミュニケーションやビジネス・デベロップメント活動のサポートを担当しています。



ATP関係の機能は全て米国本部にあります。時差もあり日本語スピーカーもおりませんので、ATP関係に関しましてはお気軽にお声をかけていただければと思います。

# PM Calendar / PMカレンダー

PMI日本支部のイベントならびにPM教育関連セミナーなどの案内です。  
新型コロナウイルス拡大防止の観点から、全てのセミナーをリモート化して実施しています。  
詳しくは、PMI日本支部のWebサイトをご参照ください。

【ホームページにて公開中・準備中】

## ■ PMI日本支部関連セミナー/ワークショップ

### ● 未来創造セミナー

- 日時：7月21日(水) 19:00～21:00
- 形式：リモート開催
- 対象は35歳以下、受講証明書発行ナシ

### ● ディシプリンド・アジャイル基礎

- 日時：8月11日(水) 9:00～18:45
- 形式：リモート開催
- 7PDU、ITC実践力ポイント7時間分

### ● デザイン思考応用 (2日間)

- ～新事業創出への変革シナリオ～
- 日時：8月26日(木) 9:00～18:45
- 形式：リモート開催
- 14PDU、ITC実践力ポイント14時間分

### ● アジャイル基礎

- 日時：8月10日(火) 9:30～18:30
- 形式：リモート開催
- 7PDU、ITC実践力ポイント7時間分

### ● 8月度月例セミナー

- 日時：8月27日(金) 19:00～21:00
- 形式：リモート開催
- 2PDU、ITC実践力ポイント2時間分

### ● ディシプリンド・アジャイル基礎・

- 日時：9月10日(金) 9:00～18:45
- 形式：リモート開催
- 7PDU、ITC実践力ポイント7時間分

## ■ PMI日本支部関連イベント

### ● PMI日本フォーラム 2021

- リモート開催
- 日時：2021年7月10日(土)～31日(土) お申込みは7月30日まで可
- 基調・招待講演のリアルタイム配信：2021年7月10日(土)、11日(日)
- 部会・スポンサー講演のオンデマンド配信：2021年7月10日(土)～31日(土)
- 基調・招待講演のオンデマンド配信：2021年7月12日(月)～31日(土)

### ● PMI Japan Festa 2021

- リモート開催
- 日時：2021年11月6日(土)～30日(火)
- 講演のリアルタイム配信：2021年7月6日(土)、7日(日)
- 講演のオンデマンド配信：2021年7月6日(土)～30日(火)

【月例セミナー開催について】 2021年度の月例セミナーは、下記の日程で行います。

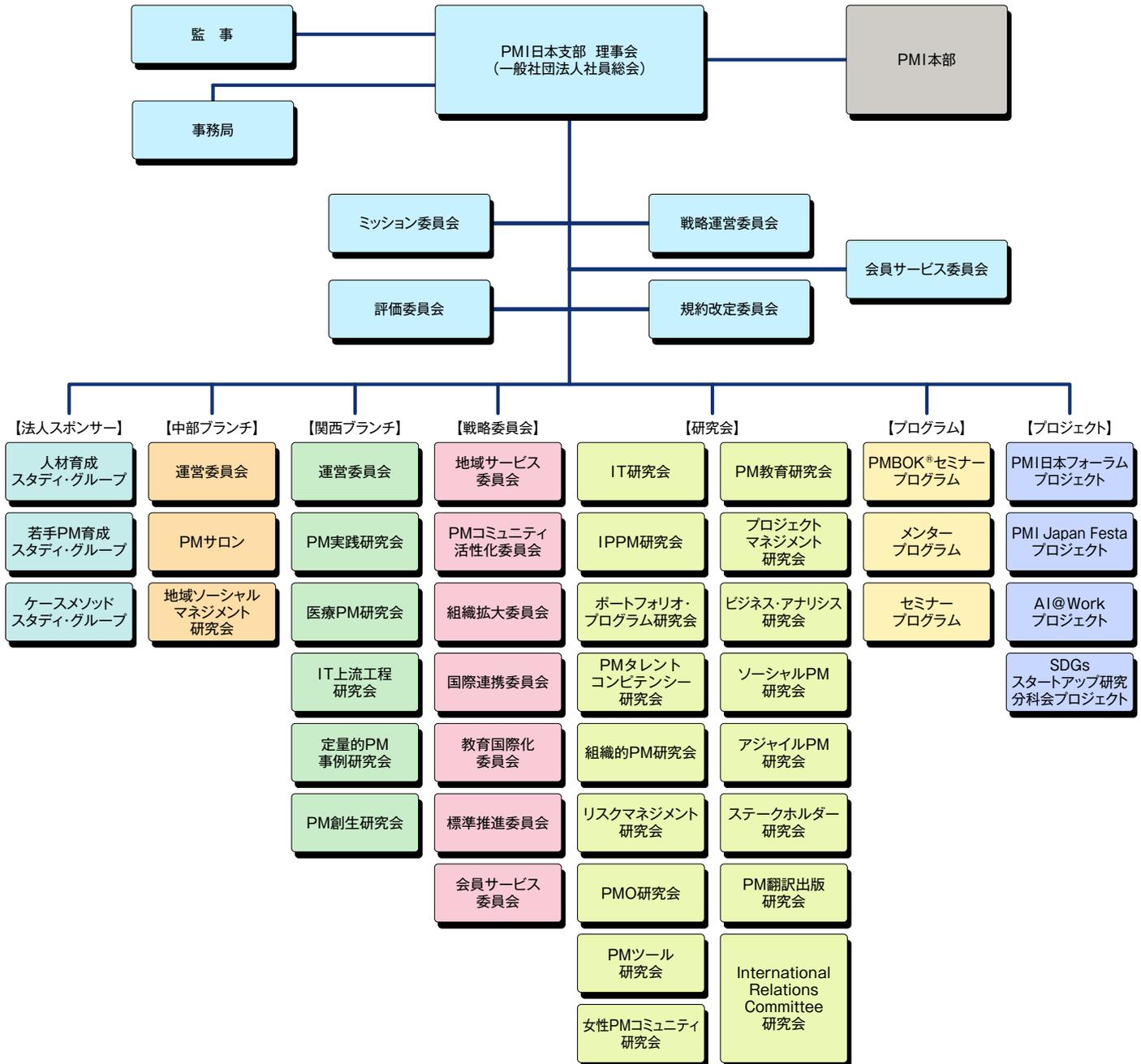
【日程(予定)】	(2021年1月23日(土) 新春特別セミナー)
① 2021年2月19日(金)	⑤ 2021年6月18日(金) リモート
② 2021年3月21日(日)	⑥ 2021年8月27日(金) リモート
③ 2021年4月16日(金)	⑦ 2021年9月
④ 2021年5月15日(土) リモート	⑧ 2021年12月

\*なお、イベント、セミナー、コースなどは、諸般の事情により変更または中止される場合があります。  
PMI日本支部ホームページで確認をお願いいたします。(https://www.pmi-japan.org/event/)

# Fact Database / データベース

PMI日本支部やPMP®資格取得者に関する最新情報をお届けします。

## ■ 支部活動 (2021年6月現在)



## Fact Database/データベース

## ■理事一覧 (2021年6月現在)

会長	片江有利	株式会社システムコストマネジメント
副会長	麻生重樹	日本電気株式会社
副会長	浦田有佳里	TIS株式会社
副会長	奥澤薫	KOLABO
副会長	斉藤学	スカイライト コンサルティング株式会社
副会長	端山毅	株式会社NTTデータ
副会長	森田公至	日本アイ・ビー・エム株式会社

(以下、五十音順)

理事	井奈波誠	JBCC株式会社
理事	井上雅裕	慶應義塾大学
理事	岩岡泰夫	株式会社国際開発センター
理事	金子啓一郎	三菱電機株式会社
理事	杉原秀保	ニッセイ情報テクノロジー株式会社
理事	千葉昌幸	株式会社三菱総合研究所
理事	中村亜子	株式会社パーソル総合研究所
理事	藤井新吾	モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
理事	藤原慎	株式会社NTTデータユニバーシティ
理事	松本弘明	株式会社オプティム
理事	水井悦子	エンパワー・コンサルティング株式会社
理事	山本智子	川崎医療福祉大学
理事	除村健俊	芝浦工業大学
理事	渡辺哲也	株式会社日立アカデミー
監事	島崎理一	OPTYWORKS株式会社
監事	山中良文	JFEシステムズ株式会社
監事	渡辺善子	株式会社日本政策金融公庫、JBCCホールディングス株式会社

## ■最新の会員・資格者情報 (2021年4月30日現在)

会員数		資格保有者数								
		PMP®		PMI-SP®	PMI-RMP®	PgMP®	PMI-ACP®	PfMP®	PMI-PBA®	CAPM®
PMI本部	日本支部	世界全体	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住
655,125人	4,735人	1,145,522人	39,128人	6人	12人	12人	195人	8人	14人	253人

## ■ 行政スポンサー (2021年6月現在)

- 三重県 桑名市
- 滋賀県 大津市

## ■ 法人スポンサー 一覧 (106社、順不同、2021年6月現在)

- TIS株式会社
- 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 株式会社NSD
- 株式会社インテック
- キヤノンITソリューションズ株式会社
- 日本電気株式会社
- アイアンドエルソフトウェア株式会社
- 株式会社NTTデータ
- プラネット株式会社
- 日本ユニカシステムズ株式会社
- 株式会社クレスコ
- ラーニング・ツリー・インターナショナル株式会社
- 日本ヒューレット・パッカード株式会社
- 株式会社アイ・ティー・ワン
- 株式会社タリアセンコンサルティング
- 株式会社大塚商会
- 日本プロセス株式会社
- 株式会社NTTデータ関西
- 日本ユニシス株式会社
- JBCC株式会社
- 株式会社パーソル総合研究所
- 日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社
- 株式会社アイテック
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・フロンティア
- 株式会社日立アカデミー
- 情報技術開発株式会社
- アイシンク株式会社
- 三菱総研DCS株式会社
- ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社
- 東芝テック株式会社
- 三菱スペース・ソフトウェア株式会社
- 株式会社三菱総合研究所
- NTTデータアイ株式会社
- 日鉄ソリューションズ株式会社
- 株式会社日立ソリューションズ
- 日本自動化開発株式会社
- 日揮グローバル株式会社
- 株式会社野村総合研究所
- 株式会社アイ・ティ・イノベーション
- 株式会社JSOL
- ニッセイ情報テクノロジー株式会社
- 株式会社リコー
- 株式会社システム情報
- 住友電気情報システム株式会社
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・ユニバーシティ
- 株式会社マネジメントソリューションズ
- NDIソリューションズ株式会社
- 株式会社日立製作所
- 株式会社システムインテグレータ
- 日本ビジネスシステムズ株式会社
- コベルコシステム株式会社
- 日本電子計算株式会社
- 株式会社日立システムズ
- 株式会社神戸製鋼所
- クオリカ株式会社
- 株式会社エクサ
- 株式会社ラック
- 三菱電機株式会社
- TAC株式会社
- 日本情報通信株式会社
- 株式会社日立社会情報サービス
- 株式会社シグマクシス
- 株式会社TRADECREATE
- 株式会社日本ウィルテックソリューション
- システムスクエア株式会社
- 株式会社アイ・ラーニング
- 株式会社トヨタシステムズ
- 東芝インフォメーションシステムズ株式会社
- 株式会社ワコム
- NCS & A株式会社
- 日立物流ソフトウェア株式会社
- SCSK株式会社
- 株式会社東レシステムセンター
- ビジネステクノクラフツ株式会社
- SOMPOシステムズ株式会社
- 株式会社エル・ティー・エス
- 株式会社日立産業制御ソリューションズ
- MS & ADシステムズ株式会社
- 日本クイント株式会社
- リコージャパン株式会社
- 株式会社アジャイルウェア
- SBテクノロジー株式会社

## Fact Database/データベース

- 株式会社インテジテクノスフィア
- 株式会社ネクストスケープ
- 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- 株式会社オーシャン・コンサルティング
- 株式会社リクルートテクノロジーズ
- アクシスインターナショナル株式会社
- JFEシステムズ株式会社
- アドソル日進株式会社
- キヤノン株式会社
- ビジネスエンジニアリング株式会社
- 大日本印刷株式会社
- サイフォーム株式会社
- I&J デジタルイノベーション株式会社
- 株式会社NTT データ・ニューソン
- キーウェアソリューションズ株式会社
- ヤンマー情報システムサービス株式会社
- アフラック生命保険株式会社
- NEC ソリューションイノベータ株式会社
- 株式会社パスコ
- アベールソリューションズ株式会社
- 株式会社パデコ
- MI デジタルサービス株式会社
- エス・エー・エス株式会社
- Wrike Japan

## ■ アカデミック・スポンサー 一覧 (49教育機関、登録順、2021年6月現在)

- 産業技術大学院大学
- 慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科
- サイバー大学
- 芝浦工業大学
- 金沢工業大学
- 九州大学大学院芸術工学府デザインストラテジー専攻
- 広島修道大学経済科学部
- 北海道大学 大学院情報科学研究科
- 山口大学大学院技術経営研究科
- 筑波大学大学院システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻
- 早稲田大学 ビジネススクール
- 早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部 情報理工学科
- 公立大学法人 広島市立大学 情報科学部
- 国立高等専門学校機構 仙台高等専門学校
- 大阪大学 大学院工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻
- 愛媛大学工学部および大学院理工学研究科工学系
- 国立高等専門学校機構 八戸工業高等専門学校
- 学校法人中部大学 経営情報学部
- 京都光華女子大学
- 鹿児島大学産学・地域共創センター
- 中央大学 文学部社会情報学専攻
- 千葉工業大学 社会システム科学部 プロジェクトマネジメント学科
- 京都工芸繊維大学 ものづくり教育研究支援センター
- 東京工科大学大学院 コンピュータサイエンス専攻
- 北海道情報大学
- 山口大学工学部知能情報工学科
- 川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部 医療秘書学科および大学院医療秘書学専攻
- 青山学院大学 国際マネジメント研究科
- 公立大学法人 公立はこだて未来大学
- 慶應義塾大学・理工学部・管理工学科・飯島研究室
- 就実大学 経営学部
- 神戸女子大学 家政学部 家政学科
- 明石工業高等専門学校 建築学科 大塚研究室
- サレジオ工業高等専門学校 一般教育科 物理教育学研究室
- 北陸先端科学技術大学院大学 知識マネジメント領域
- 中京大学 情報センター
- 法政大学専門職大学院イノベーション・マネジメント研究科
- 札幌学院大学
- 国立研究開発法人 理化学研究所 多細胞システム形成研究センター
- 岡山大学 教育研究プロジェクト戦略本部 戦略プログラム支援ユニット (URA)
- 香川大学大学院 地域マネジメント研究科 中村研究室
- 明治大学 経営学部 鈴木研一研究室
- 中京大学 経営学部 齊藤毅研究室
- 独立行政法人国立高等専門学校機構舞鶴工業高等専門学校
- 愛媛大学 教育・学生支援機構学生支援センター 丸山智子研究室
- 東京都市大学 都市生活学部 国際開発プロジェクト研究室
- 江戸川大学 メディアコミュニケーション学部 情報文化学科
- 地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立神戸アイセンター病院 研究センター
- 中央大学 国際情報学部

# Editor's Note / 編集後記

執筆者の皆さまへ。お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。

## ■ PMI日本フォーラム2021

2021年7月10日から31日まで、「PMI日本フォーラム2021」を全面リモートで開催します。12名の方々による基調・招待講演のほか、研究報告講演45編（部会、法人スポンサー スタディー・グループ、フォーラム・スポンサー企業様）、アカデミック講演8編など計65の講演が展開されます。その概要を紹介しました。

## ■ 委員会・部会活動内容紹介

2021年5月24日(月)に、PMコミュニティ活性化委員会主催で「部会紹介セミナー」を開催しました。これは、日本支部会員の特典の1つである部会活動をより深くご理解いただくとするもので、30にも上る部会のうち、今回は3つの部会活動が紹介されました。その中から今回は「PMコミュニティ活性化委員会」、「関西ランチ定量的PM事例研究会」をニューズレターでもご紹介します。

## ■ 新規法人スポンサー紹介：NECソリューションイノベータ様

2020年4月に法人スポンサーに加入されたNECソリューションイノベータ様から自社紹介をいただきました。NECグループのソフトウェア開発を担い、時代をリードする先進技術、社会や企業を支えるシステムやソフトウェアを提供し続ける会社です。

## ■ 2020 Chapter Satisfaction Survey結果

PMI本部のマーケット・リサーチ・チームが毎年1月に全世界の会員を対象に実施しているアンケート調査結果から、2020年版の日本支部に関わる部分をご紹介しました。

## ■ PMIアジアパシフィック ご紹介

PMIのリージョナルオフィスとしてシンガポールに設立された「PMIアジアパシフィック」。日本のPMコミュニティのサポート強化を図るため、最近、日本人職員が加わりました。日本に関わるPMIアジアパシフィックのメンバーを新任の武田泉さんから紹介いただきました。

## ニューズレター編集担当から読者の皆様へお願い

皆さまからの書評、論評、トピックス、セミナー受講レポート、プロジェクト体験記、PMP認定試験受験体験記などを募集しています。PMI日本支部事務局宛てにお送りください。

開催断行か再延期か中止か。日本国民、世界中が注目していた「東京オリンピック・パラリンピック2020」は、規模を縮小して開催することがようやく決まりました。新型コロナウイルスの感染防止を続けつつ、この大プロジェクトを成功裏におさめるため、各分野のリーダーたちの奮闘・苦労は計り知れないものがあります。

このような中、日本支部における年間最大のイベント「PMI日本フォーラム2021」も、講演予定の方々、ボランティア会員、スポンサー企業様、理事、事務局員が一丸となってラストスパートに差し掛かっています。

皆さまとともに、この大プロジェクトを成功させましょう！

### PMI日本支部ニューズレター Vol.87 2021年6月発行

編集・発行：PMI日本支部 事務局

〒103-0008 東京都中央区日本橋中洲3-15 センタービル3階

TEL：03-5847-7301 FAX：03-3664-9833

E-mail：info@pmi-japan.org

ホームページ：https://www.pmi-japan.org/

(非売品)